

シンポジウム「専門薬剤師の必要性と今後の展望」

1. 主催：日本学術会議 薬学委員会専門薬剤師分科会
2. 共催：日本薬学会
3. 後援（予定）：厚生労働省、日本病院薬剤師会、日本薬剤師会、日本医療薬学会
4. 日時：平成20年3月11日（火）12：40～16：00
5. 会場：日本学術会議 講堂
6. 次第

（開催趣旨）

日本学術会議では、薬学教育6年制がスタートしたことを機に、薬剤師の将来像を検討するためのテーマの1つとして専門薬剤師を取り上げ、今後の医療における薬剤師の役割と新たな展開について、多方面の関係者の参加を得て考えることを目的に、このたび「専門薬剤師の必要性と今後の展望」をテーマにシンポジウムを企画した。国内外の薬剤師の業務展開に詳しい専門家に講演をいただき、議論を深め、期待される薬剤師像について社会に向けて発信できることが期待される。

（プログラム）

総合司会 望月眞弓（共立薬科大学教授）

12：40～12：45

開会あいさつ 鶴尾 隆（（財）癌研究会・癌化学療法センター所長、日本学術会議会員）

シンポジウム

座長 内海英雄（九州大学大学院薬学研究院教授、日本薬学会会頭）、
乾 賢一（京都大学医学部附属病院教授・薬剤部長）

12：45～13：30

基調講演 日本における専門薬剤師の必要性とその将来

（群馬大学大学院医学研究科教授・附属病院薬剤部長 堀内龍也）

13：30～15：55

- 1) 米国における特色ある薬剤師職能と専門薬剤師（神戸学院大学薬学部、赤穂榮一）
- 2) 我が国における薬局薬剤師の現状と将来（日本薬剤師会専務理事 石井甲一）
- 3) 生命輝かそう専門薬剤師一薬の鉄人としての専門薬剤師（赤穂市民病院長 邊見公雄）
- 4) 薬剤師職能の評価に関する新たな展開（医療制度改革、診療報酬・調剤報酬の改正などから）（厚生労働省保険局医療課薬剤管理官 磯部総一郎）

総合討論

15：55～16：00

閉会あいさつ 眞弓忠範（神戸学院大学ライフサイエンスセンター長・薬学研究科教授、
日本学術会議会員）

7. その他

事前の申し込みは必要ありません。先着300名までご参加いただけます。